



平成 29 年度 向山小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

5月26日（金）に開催された「平成29年度向山小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 29 年 5 月 26 日（金） 19:00～20:45		
会 場	錦田公民館		
参加団体 (31名)	夏梅木町内会 錦が丘自治会 中島町内会 中島自主防災会 多呂自治会 北沢町内会 中郷地区自治会連合会 交通安全母の会	組合立若葉保育園 公立保育園父母の会 大場幼稚園 向山小学校 向山小学校 PTA 中郷中学校 中郷中学校 PTA 中島子ども会	向山小学校支援地域本部 交通安全指導員会 保健委員会 保護司会 民生委員・児童委員 夏梅木幸生会 多呂北沢双葉会 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 4 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

小学校区内で活動する団体の行事や活動等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の予定を合わせた年間スケジュール表を作成しています。

■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
夏梅木町内会	・ 少子高齢化が進んでいるので、子どもと高齢者の交流をしたいです。
若葉保育園	・ 函南と三島の子がほぼ半分ずつ通園しています。 ・ 子育て支援と地域交流に力を入れており、今年から大場の老人会と交流する予定です。
向山小学校	・ 児童数は604人（昨年638人）で市内2番目に大規模の小学校です。 ・ 校区内には、交通量が多くて危険な所も多いです。しかし、スクールガードが見守ってくれるため、通学時の交通事故は軽微なもの1件のみです。 ・ 向山祭り（12/1）では3年生以上が出店します。地域の人も来てください。
向山小学校PTA	・ PTAでは、年2回廃品回収を実施し、10月下旬にバザーを開催します。いつも地域の皆様のご協力ありがとうございます。 ・ 子どもの笑顔のため、朝起きられるか運動を実施しています。
向山小学校支援地域本部	・ PTA主催のバザーに協力しています。今年も地域のご協力をお願いします。 ・ 図書室の整理、読み聞かせ、授業支援など、ボランティアを募集しています。ご協力いただける場合の問い合わせは、向山小まで。
中郷中学校	・ 生徒は、ジュニア防災士の講習を受けています。
交通指導員	・ 東駿河湾環状線ができたことで、近年交通量が増加しています。
社会福祉協議会	・ 地域の困り事があればご相談ください。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
5/27（土）	中島自治会	河川清掃（リバーフレンドシップ）
—	中郷中学校	中郷学習お助け隊（略称：NGO／年21回）

「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

きずながつくる協働の取組み計画案に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みに絞り、話し合いたいテーマとしてふさわしいものを旗揚げアンケート方式で把握しました。

	大人から子どもへ積極的にあいさつする。	12
	防災訓練で中学生に役割を与え、主体的に参加してもらう。	6
	子どもの視点で通学路の安全点検をする。	13

その後、選択したテーマごとにグループを作り、グループ別に意見交換を行いました。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

大人から子どもへ積極的にあいさつする。

●目的（何のため？）

<顔見知りになる・世代間交流>

- ・お互い心の窓を開きたい。人間交流を図る
- ・大人、子どもそれぞれの顔を知る
- ・地域が見えるようになる
- ・コミュニケーションが取れる
- ・顔が見える
- ・世代間交流
- ・顔の見える地域
- ・顔見知りになり、気軽に話し合える関係に

<社会の基本>

- ・社会生活の基本の「あいさつ」ができる子を皆で育てたい

<子どもの非行防止>

- ・あいさつから子どもの非行を防ぐ

●校区のあいさつの現状は？

<子どもにあいさつしている>

- ・朝夕犬の散歩をしているので、必ず声を掛ける。先に子どもからしてくれたら嬉しい

<あいさつできない大人もいる>

- ・朝ウォーキングをしていて、子どもでなく大人同士（初対面）であいさつができない

<あいさつしない子どもがいる>

- ・朝、あいさつしても返さない子がいる
- ・そもそも近所に子どもがいない

●あいさつができない要因は？

<防犯のため>

- ・防犯上子ども達は「イカのおすし」を学んでいるためあいさつをしない子がいる
- ・顔見知りでないあいさつしない（防犯上）

●大人から子どもへあいさつするために どんな取組みが有効か？

<子どもが安心するように顔見知りになる>

- ・毎日声かけをすると、あいさつしてくれる
- ・子ども達は家の前であいさつしてくれる人にはあいさつする
- ・毎日犬の散歩で顔見知りになるとあいさつしてくれる
- ・子ども達は交通安全の服を着ている人にはあいさつする

<登下校に合わせる、続ける>

- ・登校時間帯に家の前のそうじをして、あいさつする
- ・さりげなく笑顔で何回でも

●取組を実現するためにクリアすべき課題は？

- ・以前に比べ、外を歩いていてすれ違う人が少ない。（車社会だからか？子どもが少ないからか？）
- ・子どもがいない場所はどうすればよいか？

<共働きは、登下校の時間帯は難しい>

- ・仕事があると、登下校の時間は難しい

●できそうなこと

<やらされ感なくできることが重要>

- ・子どもの通学時間に地域でウォーキングをしている人に行ってもらう
- ・登下校の時間に子どもに会えるタイミングを作る努力をする
- ・負担を分散することも考慮

●目的（何のため？）

<防災意識の向上>

- ・防災意識の向上
- ・防災に対する意識の向上
- ・防災の重要性を知る

<働き手>

- ・地域の為に役立つ為
- ・もしものときの重要な働き手。大人に近い動きができる。地域に近いところにいる
- ・自助、共助、公助
- ・地域の一員としての責任感

<交流>

- ・地域との交流
- ・地域行事への参加する事で交流を持つ
- ・大人との交流、協力

●中学生にはどんな役割が適切か？

地域の考え

- ・非常食の調理、配布
- ・防災クイズ
- ・防災〇×クイズ
- ・中学生が自ら説明
- ・会場のアナウンス
- ・会場の設営補助

保護者の考え

- ・小学生への声掛け
- ・グループに分けていろいろな大変をさせてもらう。物資、人の運搬、消火など

中高生に任せない方がよいこと

- ・ケガが心配
- ・使い方を知らないと危険

●防災訓練で実践するためにクリアすべき課題は？

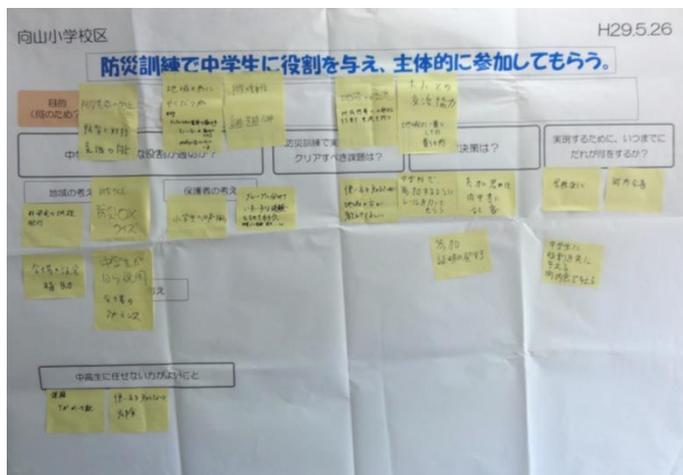
- ・使い方を地域の方が教えてほしい

●解決策は？

- ・中学校で参加するようにルールを引いてもらう
- ・参加者は内申書に記載
- ・参加証明書の発行

●実現するために、いつまでにだれが何をするか？

- ・学校側で
- ・町内会長
- ・中学生に役割を先に与える
- ・町内会で与える



●目的（何のため？）

- ・交通安全。生命を守るため
- ・スクールガードさんとの交流

●通学路の安全点検では、どのようなことをチェックするか？

- ・段差
- ・側溝
- ・事故、不審者から命を守る
- ・子どもの興味をそそるような環境チェック（危険性大）

●どんな機会に点検するのがよいか？

- ・十数年前、地区毎に集まって地図に記入している
- ・今は通学路のキケンをスクールガードと確認している
- ・時間をかけてやる
- ・幼稚園で子どもとお散歩しながら通学路チェック
- ・新しい分譲地の広い道路の安全性の検証

●取組みを実現するためにクリアすべき課題は？

- ・分譲地に人が住み始めてからの車の交通量が増えた

- ・新たなキケン箇所がある

- ・通勤の抜け道に使う人が危ない（特に信号）

●安全点検以外にできそうなこと

- ・「私達を見守ってください」の放送を続ける
- ・大人が不信がられないようにしないと
- ・スクールガードの見守りを伝える（安全のために大切）
- ・地域の交通マナーを知ってもらう
- ・集団登校はできないか

●いつまでにだれが何をする？

＜親が子どもと歩いて共有＞

- ・親が子のキケンを知ってあげる
- ・親が共有する。子どもと歩く

＜高学年と集団登校＞

- ・高学年と一緒に集団的な登校

＜解決法を皆で考える＞

- ・信号だけのための子どもの教育をする
- ・スクールガードも一緒に参加

